

東日本旅客鉄道株式会社長野支社と国立大学法人信州大学との 連携事業として観光振興・人材育成の授業を開講します

東日本旅客鉄道株式会社長野支社（以下、JR東日本長野支社）と国立大学法人信州大学（以下、信州大学）は、観光産業への関心を高め、観光人材の育成を目的とした連携事業として授業を開講します。JR松本駅を起点とした地域の観光づくりについて、信州大学生とJR東日本長野支社社員が連携してフィールドワークやディスカッション等を行い、課題解決に向けて取り組みます。

1 講座名

2021年度「課題解決実践ゼミ」

（全学横断特別教育プログラム ローカル・イノベーター養成コース スタートアップ授業）

2 テーマ

以下のテーマをもとに、松本周辺エリアを軸にした観光分野の課題解決に向け、信州大学とJR東日本長野支社が連携して取り組みます。なお、テーマ設定にあたっては、2020年度修了生の提案による「駅の価値創造」や、昨今の新型コロナウイルス感染症対策を反映した「新しい旅のスタイル推進」など、今年度独自の内容を取り入れています。

- ・駅の価値創造：JR EAST Welcome Center MATSUMOTO や、駅構内空きスペースの活用
- ・沿線の観光素材の掘り起こし：「駅からハイキング」新コース等、観光コンテンツの開発
- ・列車を活用した観光訴求：2022年春（※）に向けた、松本を起点とする県内流動活性化
※2022年4～6月期は、善光寺御開帳・諏訪御柱祭をはじめとした大規模な祭事が複数開催予定
- ・コロナ禍における新しい旅のスタイル推進：
キャッシュレス決済（Suica）利用機会の拡大、ワーケーションの推進など

3 授業の特徴

Problem/Project Based Learning：PBL方式で実施し、リアルな現場において問題の発見、課題設定、課題解決を行いながら、知識を実践的に活用する学びを行います。知識獲得においては、観光に携わる外部講師（実務者）を招聘し、先進的な取り組みや分析視点を学びます。テーマごとにチームを形成し、授業時間外でのフィールド調査分析を行い、最終的に課題解決プログラムを報告会（2022年2月15日開催予定）にて提案します。

4 対象・定員

全学生・16名程度

5 時期

2021 年度後期（2021 年 9 月～2022 年 2 月）

6 参考

2020 年度実施事例

- ・ 信州大学と JR 東日本長野支社との観光振興・人材育成事業「2020 年度課題解決実践ゼミ」がスタート

<https://www.shinshu-u.ac.jp/topics/2020/10/jr2020.html>

- ・ 信州大学×JR 東日本長野支社 課題解決実践ゼミ「事業提案報告会」を開催

<https://www.shinshu-u.ac.jp/topics/2021/03/jr.html>